

ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

令和7年度 職業訓練指導員試験（資格試験）受験案内

この試験は、職業能力開発促進法に基づき職業訓練指導員としての資格を得るために行うもので、合格者には、申請により職業訓練指導員免許証が交付されます。

（なお、この試験は公共職業能力開発施設の職業訓練指導員採用試験ではありません。）

特 典

免許取得者は、その職種について技能検定（1級・2級・3級・単一等級）を受検する際の学科試験の全部が免除になります。

- 免許取得後1年の実務経験で1級技能検定が受検できます。
- 労働安全衛生法に基づく資格を取得するとき、該当職種について試験（講習）の全部又は一部が免除されます。
- 自動車整備科の合格者は、自動車整備士技能検定規則による2級又は3級の技能検定を受験する場合に、学科試験（保安基準その他の自動車の整備に関する法規の科目を除く。）及び実技試験の全部が免除されます。

青森県

1 実施職種

- (1) 学科試験のうち関連学科（系基礎学科、専攻学科）、指導方法を実施する職種

建 築 科

配 管 科

造 園 科

（ただし、受験については、実技試験免除者に限ります。）

- (2) 学科試験のうち指導方法のみを実施する職種

上記（１）を除く全職種

（ただし、受験については、実技試験の全部、系基礎学科、専攻学科の３科目すべての免除者に限ります。）

- (3) 実技試験及び学科試験の全部の免除を受けることができる者（全免除者）による受験については、記6(2)申請書類の受付期間に限らず通年で受け付けます。また、全免除者については、受験申請と併せて職業訓練指導員免許の申請手続きを行うことができます。

2 試験日時及び試験会場

区 分			試験日時（予定）	試験会場
学科試験	指 導 方 法		令和7年8月23日（土） 10：30～11：30	青森県立 青森高等技術専門校
	関連学科	系基礎学科	令和7年8月23日（土） 12：30～15：30	
		専攻学科		

3 試験会場へのアクセス

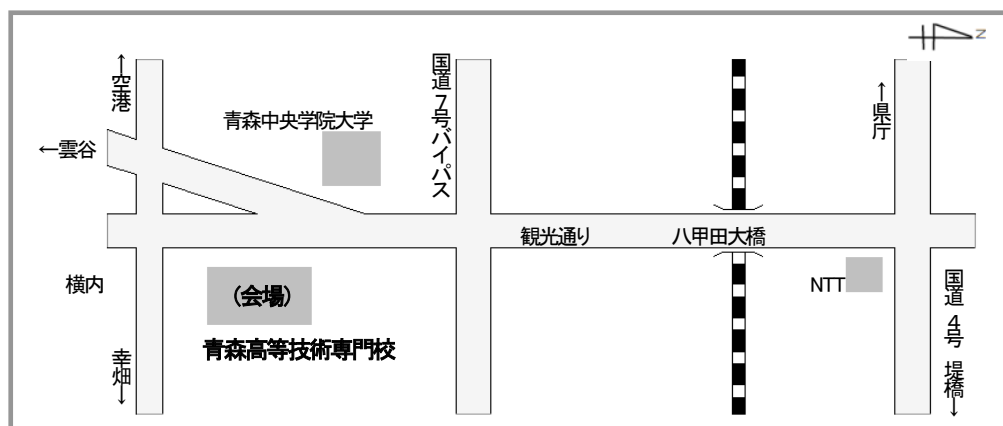
学科試験会場

青森県立青森高等技術専門校

〒030-0122 青森市大字野尻字今田 43-1

電話 017-738-5727

◎案内図



公共交通機関でのアクセス

- ① JRバス JR青森駅（①のりば）青森公立大学・モヤヒルズ行き（横内線）「中央学院大学前」下車
② 青森市営バス JR青森駅（④のりば）青森公立大学行き、モヤヒルズ行き「青森中央学院大学前」下車

4 試験科目

学科試験の科目は次のとおりです。

免許職種	学 科 試 験 の 科 目
建 築 科	1 指導方法 (職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導及び職業訓練関係法規) 2 関連学科 (1) 系基礎学科 ① 建築工学 (構造力学、建築構造、建築施工、測量、建築製図、関係法規) ② 安全衛生 (安全管理、衛生管理) (2) 専攻学科 ① 建築設計 (建築設計、設備設計、建築計画) ② 施工法 (建築施工法、建築工事、規く術、木材工作法、仕様及び積算) ③ 材料 (建築用材料)
配 管 科	1 指導方法 (同上) 2 関連学科 (1) 系基礎学科 ① 建築工学 (建築設備、配管設備、建築構造、建築施工) ② 安全衛生 (安全管理、衛生管理) (2) 専攻学科 ① 配管設備 (上下水道設備、ガス設備、冷暖房設備、空気調節設備) ② 配管製図 (読図法、配管図) ③ 施工法 (管工作法、配管施工、試験測定法、配管用材料、仕様及び積算)
造 園 科	1 指導方法 (同上) 2 関連学科 (1) 系基礎学科 ① 植物 (植物学、植物病理学、農薬) ② 土及び肥料 (土、肥料) ③ 農業機械及び施設 (農業機械、農業施設、器工具) ④ 安全衛生 (安全管理、衛生管理) (2) 専攻学科 ① 造園法 (庭園、造園計画及び設計、造園工事法、造園管理、造園機械、仕様及び積算) ② 材料 (造園植物、造園用材料)
上記以外の職種	指導方法 (職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導及び職業訓練関係法規)

5 受験資格及び免除の範囲

(1) 職業能力開発促進法施行規則によるもの

受験資格		受験に必要な実務経験年数	免除の範囲			
			実技	学科		
				系基礎学科	専攻学科	指導方法
学校教育	●大学卒業	1年		○	○	
	●短期大学卒業	2年				
	●高等専門学校卒業	2年		○	○	
	●高等学校卒業	3年				
	高等学校以上の卒業	5年				
職業訓練	長期課程の指導員訓練修了	1年				
	長期養成課程の指導員養成訓練修了	1年				
	指導員養成課程の指導員養成訓練修了者で、既に他の指導員免許を受けた者	1年				
	職業能力開発研究学域の指導員養成訓練修了者で、既に他の指導員免許を受けた者	1年				
	短期養成課程の指導員養成訓練修了 (職業能力開発総合大学校の長が認める者)	1年	合格と認められる科目について免除			
	実務経験者訓練技法習得コースの指導員養成訓練修了 (職業能力開発総合大学校の長が認める者) ※	—	合格と認められる科目について免除			
	●応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了	—		○	○	
	●専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了	1年		○	○	
	●普通課程の普通職業訓練修了	2年				
	●短期課程の普通職業訓練(700時間以上)修了	3年				
	●専門課程(2年)の専修学校卒業	3年				
厚生労働大臣が指定する学校	●専門課程(3年)の専修学校卒業	2年				
	●高等課程若しくは一般課程(2年)の専修学校又は各種学校(2年)卒業	4年				
	●高等課程若しくは一般課程(3年)の専修学校又は各種学校(3年)卒業	3年				
	実務経験のみ	8年				
免許職種に関し技能検定1級又は単一等級技能検定合格者(バルコニー施工、電子回路接続は除く)		—	○	○	○	
免許職種に関し技能検定単一等級「電子回路接続」「バルコニー施工」合格者		—				
免許職種に関し、技能検定2級合格者		—	○			
職業訓練指導員免許所持者	免許職種と同一系	—		○		○
	上記以外の職種	—				○
免許職種に関し、職業訓練指導員試験において実技試験に合格した者		—	○			

受験資格	受験に必要な実務経験年数	免除の範囲			
		実技	学科		
			系基礎学科	専攻学科	指導方法
免許職種に関し、職業訓練指導員試験において学科試験のうち関連学科の系基礎学科に合格した者	—		○		
免許職種に関し、職業訓練指導員試験において学科試験のうち関連学科の専攻学科に合格した者	—			○	
職業訓練指導員試験において学科試験のうち関連学科の系基礎学科に合格した者（当該職業訓練指導員試験に係る系基礎学科と同一の系基礎学科のみ）	—		○		
職業訓練指導員試験において学科試験のうち指導方法に合格した者	—				○

- 印は免許職種に関する学科を履修していること。
- 印は免除される範囲を示します。
- 受験に必要な実務経験は、受験する免許職種に関するものかつ、受験資格を満たしてからの実務経験年数となります。
- ※別途受験する免許職種について受験資格を有している必要があります。
- 免許職種の訓練系は10ページを参照してください。

(2) 他の法令による受験資格及び免除の範囲（主なもの）
（職業能力開発促進法施行規則別表第11の3より抜粋）

指導員 免許職種	受験資格	免除の範囲			
		実技	学科		
			系基礎学科	専攻学科	指導方法
溶接科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特別ボイラー溶接士免許を有する者	○	○	○	
建築科	建築士法による1級建築士の免許を有する者		○	○	
電子科	電波法による第1級陸上無線技術士の免許を有する者	○	○	○	
自動車整備科	自動車整備士技能検定規則による一級大型自動車整備士、一級小型自動車整備士、一級二輪自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士若しくは二級二輪自動車整備士、平成十二年省令による改正前の自動車整備士技能検定規則による一級四輪自動車整備士又は昭和五十三年省令による改正前の自動車整備士技能検定規則による二級三輪自動車整備士の技能検定の合格証書を有する者	○	○	○	
自動車車体整備科	自動車整備士技能検定規則による自動車車体整備士の技能検定の合格証書を有する者	○	○	○	
航空機整備科	航空法による1等航空整備士若しくは2等航空整備士又は航空工場整備士の資格についての航空従事者技能証明書を有する者	○	○	○	
測量科	測量法による測量士の試験の合格証書を有する者	○	○	○	
ボイラー科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特級ボイラー技士の免許を有する者又は電気事業法施行規則によるボイラー・タービン主任技術者の免状を有する者	○	○	○	
電気通信科	電波法による第1級総合無線通信士の免許を有する者	○	○	○	
臨床検査科	医師法による医師国家試験、歯科医師法による歯科医師国家試験又は獣医師法による獣医師国家試験の合格証書を有する者	○	○	○	

指導員 免許職種	受験資格	免除の範囲			
		実技	学科		
			系基礎 学科	専攻 学科	指導 方法
事務科	公認会計士法による公認会計士試験の短答式による試験若しくは論文式による試験、平成十五年法律による改正前の公認会計士法による公認会計士試験の第二次試験若しくは第三次試験又は税理士法による税理士試験に合格したことを証する書面を有する者	○	○	○	
介護サービス科	・児童福祉法による保育士登録証を有する者であつて、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有し、かつ、社会福祉士及び介護福祉士法第四十条第二項第五号の規定に該当するもの ・保健師助産師看護師法による保健師、助産師若しくは看護師の免許を有する者 ・保健師助産師看護師法による准看護師の免許を有する者であつて、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有するもの ・教育職員免許法による養護教諭の免許状を有する者であつて、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有するもの若しくは同号の規定に該当するもの ・理学療法士及び作業療法士法による理学療法士若しくは作業療法士の免許を有する者であつて、同号の規定に該当するもの ・社会福祉士及び介護福祉士法による社会福祉士登録証を有する者であつて、同号の規定に該当するもの ・社会福祉士及び介護福祉士法による介護福祉士登録証を有する者 ・精神保健福祉士法による精神保健福祉士登録証を有する者であつて、同号の規定に該当するもの ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律による保育教諭の資格を有する者であつて、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有し、かつ、同号の規定に該当するもの	○	○	○	
港湾荷役科	労働安全衛生法による船内荷役作業主任者技能講習の修了証を有する者であつて、道路交通法による大型特殊自動車免許並びに労働安全衛生法による車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習の修了証及び玉掛け技能講習の修了証を有する者	○	○	○	

(注) ○印は免除される範囲を示します。この表に掲載されていない免許資格は、職業能力開発促進法施行規則別表11の3をご覧ください。

6 受験申請手続

(1) 提出書類等

受験の申請時に提出する書類等は次のとおりです。

ア 受験申請書 1通

イ 履歴書 1通

ウ 受験資格及び免除資格を証する書類

実務経験証明書、卒業証明書、技能検定合格証書の写し等

エ 写真 2枚（全免除者は1枚、申請書に貼り付けてください。）

申請前6ヵ月以内に撮影した上半身、正面脱帽で大きさ40mm×30mmのもの。

裏面に氏名を記載し、1枚は申請書に貼り付け、もう1枚は提出してください。

オ 110円切手 1枚（全免除者は不要）

受験票及び受験説明を封書により郵送します。

(2) 申請書類の受付期間

令和7年6月3日（火）から令和7年6月27日（金）まで

（ただし、午前8時30分から午後5時15分までとし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

郵送の場合は必ず書留郵便とし、令和7年6月27日（金）の消印があるものまで受け付けます。

(3) 受験手数料

学科試験 **3,100円**（全免除者は不要）

（青森県収入証紙を購入の上、申請書に貼り付けてください。）

現金による申請は受け付けません。

青森県収入証紙を郵送にて購入希望の方は下記連絡先までお問い合わせ下さい。

Tel 017-722-7798（青森県庁消費生活協同組合）

(4) 申請書類の提出先

申請書は持参するか、郵送の場合は**封筒の表に「指導員試験受験申請書在中」と朱書き**してください。

【提出先】

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号

青森県経済産業部 産業イノベーション推進課 職業能力開発グループ

7 合否判定の基準

合否判定は次のとおりとする。

学科試験	指導方法	満点の6割以上の得点
	系基礎学科	満点の6割以上の得点、かつ系基礎学科の科目のすべてについて、満点の5割以上の得点
	専攻学科	満点の6割以上の得点、かつ専攻学科の科目のすべてについて、満点の5割以上の得点

上記すべてを満たす場合を合格とし、一部を満たす場合を一部合格とする。

8 合格発表

令和7年9月5日（金）午前10時

青森県庁ホームページの下記ページに合格者及び一部合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に可否を直接通知します。

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/sangyo/innovation/sidouinsiken_sikakusiken.html

※電話及び電子メール等による可否に関する問い合わせには、一切応じられません。



9 合格証書及び免許証の交付

(1) この試験に合格すると職業訓練指導員試験合格証書が交付されます。

また、学科試験の系基礎学科、専攻学科、指導方法のいずれかの科目に合格した者は、一部合格証書が交付されます。

(2) この試験に合格した者は、申請（手数料 2,300円）によって職業訓練指導員免許証が交付されます。

10 得点の開示について

青森県では、青森県情報公開条例に基づき、当該試験に関する得点の開示を次のとおり行っています。

情報提供方法	開示請求できる者	開示期間	開示請求方法
書面による開示	受験者本人 又は法定代理人	随時	開示請求書を総務文書課文書・情報公開グループへ提出してください。 開示請求書様式は下記ページからダウンロードしてください。 https://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/jkoukai/kokaijiseikyuu.html 

11 その他

(1) 受験票は、受験申請書を受理した後受験者に送付します。

試験日1週間前になっても受験票が届かない場合は、お問い合わせください。

(2) 次のいずれかに該当する者は、この試験を受けることができません。

イ 禁錮以上の刑に処せられた者

ロ 職業訓練指導員免許の取消しを受け、当該取消しの日から2年を経過しない者

(参 考)

◎ 受験申請に必要な提出書類

提出書類 受験者区分	受 験 申請書	履歴書	写真	切手	卒 業 修 了 証明書	科 目 合格証	技能検定 合格証書 (写)	免 許 証 書 (写)	実 務 経 験 証明書	受 験 手数料
実務経験者	○	○	○	○					○	○
職業能力開発校修了者	○	○	○	○	○				○	○
大学・短大・高専・高校卒者 (関連学科履修)	○	○	○	○	○				○	○
専修・各種学校卒者 (厚生労働大臣指定)	○	○	○	○	○				○	○
職業訓練指導員試験一部 合格者	○	○	○	○		○				○
技能検定合格者	○	○	○	○			○			○
他の資格所持者	○	○	○	○				○		○
全免除者	○	○	1 枚	不要	全免除を証明する書類等					不要

◎ 職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
建築物設備管理 科	ビル設備管理	塑性加工科、造船科 構造物鉄工科 鉄道車両科	鉄工
園芸科	園芸装飾	金属表面処理科	めつき、アルミニウム陽極酸化 処理
造園科 森林環境保全科	造園	機械科、製材機械科	切削工具研削
さく井科	さく井	電子科	電子回路接続、電子機器組立 て、半導体製品製造
鉄鋼科、鋳造科	金属溶解	電気科 メカトロニクス科	電気機器組立て シーケンス制御
鋳造科	鋳造、粉末冶金、ダイカスト	電子科、電気科	自動販売機調整
鍛造科	鍛造	鉄道車両科	鉄道車両製造・整備
熱処理科	金属熱処理、金属材料試験	時計科	時計修理
機械科	機械加工、非接触除去加工、金型 製作、仕上げ、機械検査、機械保 全、油圧装置調整、テクニカルイ ラストレーション、機械・プラン ト製図	光学ガラス科 光学機器科	光学機器製造
塑性加工科	金属プレス加工、工場板金	自動車製造科 内燃機関科	内燃機関組立て
塑性加工科 建築板金科	建築板金	縫製機械科	縫製機械整備

免許職種	技能検定職種
建設機械科	建設機械整備
農業機械科	農業機械整備
冷凍空調機器科	冷凍空気調和機器施工
染色科	染色
ニット科	ニット製品製造
洋裁科	婦人子供服製造
洋服科	紳士服製造
和裁科	和裁
寝具科	寝具製作
帆布製品科	帆布製品製造
縫製科	布はく縫製
木工科	機械木工、家具製作、建具製作
紙器科	紙器・段ボール箱製造
製版・印刷科	プリプレス、印刷
製本科	製本
プラスチック製品科	プラスチック成形、強化プラスチック成形
石材科	石材施工
パン・菓子科	パン製造、菓子製造
麺科	製麺
食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
水産物加工科	水産練り製品製造
発酵科	みそ製造、酒造
建築科 枠組壁建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工
屋根科	かわらぶき
とび科	とび

免許職種	技能検定職種
左官・タイル科	左官、タイル張り
築炉科	築炉
ブロック建築科	ブロック建築、エーエルシーパネル施工
畳科	畳製作
配管科 住宅設備機器科	配管
建設科	型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工
防水科	防水施工
インテリア科 床仕上げ科	内装仕上げ施工
熱絶縁科	熱絶縁施工
サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工、ガラス施工
建築科 サッシ・ガラス施工科	サッシ施工
さく井科 土木科	ウエルポイント施工
電気科	電気製図
化学分析科 公害検査科	化学分析
貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
印章彫刻科	印章彫刻
インテリア科 表具科	表装
塗装科	塗装、塗料調色
広告美術科	広告美術仕上げ
義肢装具科	義肢・装具製作
工業包装科	工業包装
写真科	写真
日本料理科 中国料理科 西洋料理科	調理
建築物衛生管理科	ビルクリーニング
フラワー装飾科	フラワー装飾

◎職業訓練指導員免許職種一覧表

	訓練系	職種名		訓練系	職種名		訓練系	職種名								
金属	金属材料	鉄鋼 鋳造 鍛造 熱処理	建設・土木	建築施工	建築 枠組壁建築 とび 建設 プレハブ建築	食料品等	食品加工	麺 パン・菓子 食肉 水産物加工 発酵								
		建築外装			屋根 スレート 建築板金 防水 サッシ・ガラス施工			装飾品等	工芸	木材工芸 竹工芸 漆器 貴金属・宝石 印章彫刻						
				建築内装	畳 インテリア 床仕上げ 表具	定置機関・機械運転等	揚重運搬機械運転			クレーン 建設機械運転 港湾荷役						
建築仕上	左官・タイル 築炉 ブロック建築 熱絶縁				事務・通信						フォークリフト					
	設備施工	冷凍空調機器 配管 住宅設備機器					サービス	設備管理・運転	建築物設備管理 ボイラー							
		土木		さく井 土木 測量					建築物衛生管理							
園芸サービス	園芸サービス			その他	オフィスビジネス	電話交換 事務 貿易事務										
	森林	森林環境保全				流通ビジネス	流通ビジネス									
	窯業・土石				通信		電気通信									
電気・電子	電気・電子	電子 電気 コンピュータ制御		窯業・土石	窯業製品	ほうろう製品 陶磁器	サービス	社会福祉	介護サービス							
	メカトロニクス	メカトロニクス				理容・美容		理容 美容								
	電力	発電電 送配電 電気工事				接客サービス		ホテル・旅館・レストラン 観光ビジネス								
輸送用機械等	第一種自動車	自動車製造	窯業・土石	窯業製品	ほうろう製品 陶磁器	サービス	調理	日本料理 中国料理 西洋料理								
	第二種自動車	自動車整備 自動車車体整備		ガラス加工	ガラス		その他	写真	写真							
				石材	石材					塗装	塗装					
	航空機	航空機製造 航空機整備	化学	化学分析 公害検査	その他			デザイン	公告美術 デザイン							
	鉄道車両	鉄道車両	プラスチック	プラスチック製品						その他	義肢・装具	義肢装具				
	船舶	造船						プラスチック	プラスチック製品				その他	保健医療	臨床検査	
紡織・繊維	製織	織布 織機調整	木製品等	木材加工		木型 木工 工業包装					装飾	フラワー装飾				
	染色	染色				紙・印刷	紙加工							紙器	第一種情報処理 第二種情報処理	情報処理
	アパレル	ニット 洋裁 洋服 縫製					印刷・製本							製版・印刷 製本		
裁縫		和裁 寝具	レザー加工	レザー加工												
帆布製品	帆布製品	皮製品														

この試験に関するお問い合わせは

〒030－8570 青森市長島一丁目１番１号

青森県経済産業部 産業イノベーション推進課

職業能力開発グループ

電話 ０１７－７３４－９４１５

メール innovation@pref.aomori.lg.jp

青森県庁ホームページ（指導員試験関係）

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/sangyo/innovation/sidouinsiken_sikakusiken.html

